

キャラクター名
七竈空声 (ななかまど・くうせい)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルヒロウ ハヌマーン	ワークス	不良高校生	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	男
覚醒	感染	衝動	破壊	初期侵食率	30 %
出自	安定した家庭	経験	初恋	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	1	0			2	行動値	18
感覚	4	0	3	1		8	(非装備時)	18
精神	2	0	0			2	戦闘移動	23
社会	1	0	0			1	全力移動	46

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達	1	
運転：二輪	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	8r+6	0	-5		
シャイニングアーム	白兵	8r+6	0	8		攻撃力：+【感覚】

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：噂話の友人	
思い出の一品	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種	P	N		
固定：両親	P 親近感	N 隔意		
固定：シナリオ：内空間千菊(うちくが ちあき)	P 庇護	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセ：エンジェルヒロウ	3	2	メジャー				-	
効果： C値-LV（下限値7）								
光の舞踏	1	2	メジャー	武器	-	-		
効果： エフェクトを組み合わせ判定を【感覚】で行える								
大裁断	3	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： 組み合わせた素手による白兵攻撃の攻撃力+[LV*3]								
獅子奮迅	2	4	メジャー	武器	範囲[選択]	対決	-	
効果： エフェクトを組み合わせた攻撃を「対象：範囲[選択]」に変更 シナリオLV回								
マスヴィジョン	3	4	メジャー	-	-	対決	100%	
効果： このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力+[LV*5] シナリオ3回								
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 戦闘移動を行う（離脱可能・インゲージ接触しても移動可能・封鎖無視） シーンLV回								
シャイニングアーム	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 素手データを書き換え								
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100%	
効果： そのメインプロセスではメジャーアクションを2回行える。ただし判定時のC値+1 シナリオ1回								
雑踏の王	★		メジャー					
効果： 超人的な知覚能力で周囲の存在の動きを俯瞰的に把握、予測することができる。必要なら<知覚>同士で対決								
猟犬の鼻	★		メジャー					
効果： 嗅覚と視覚を直結し、においの粒子や細菌、ウイルス、粉じんなどを見分けることができる。どんなに細かい粒子でも電子顕微鏡の精度で見ることができ、更に一度でも診たにおいや粒子を覚えておくことができる。								
無音の空間	★		メジャー					
効果： 自身や隠そうとする物を中心とする空間の音波伝達と匂いの放散を遮断することで気配を完全に消し去る。必要なら<RC>で判定								
効果：								
効果：								

使用：基本1/2、EA、LM、HR、BC
一人称：俺／二人称：お前、あんた／三人称：お前ら、あんたら

沐根市に住む高校1年生。左利き。
高校1年生でありながら190cmに届きそうな巨体の持ち主。
更には目つきも悪く、言葉も少ないことから謎の威圧感（オーラ）を漂わせており、他人に不良と怖がられている。
本人は別に根っからの不良という訳でなく単に口下手なだけであり、善良な人間。完全に見た目で損しているタイプ。
中学から身長伸びが著しく、常に成長痛に苛まれているためしかめっ面である。それで怖がられるのでやっぱり完全に損。
(バスケ部やバレエ部からは助っ人として目をつけられているらしい)

見た目は怖く口数も少ないが、性格は大方であり、千菊の無茶振りにもいつも何も言わず付き合っている。
「ム」とか「分かった」で大体意思疎通する。
人に避けられがちな自分を引っ張ってくれる千菊はむしろ有り難い存在である。
デカい男を付き従えて校内を駆けずり回る千菊の図は一種の風物詩……なのかもしれない。

覚醒後は、青い閃光に包まれた左腕で殴って戦う。
左ストレートで殴ってぶっ飛ばす。
図体はでかいが動きが遅いわけではなく、むしろ俊敏に動く。